

2026 年（後期）数理学習センター事前研修会報告書

後期の授業開始を前に、9 月 11 日（金）と 12 日（土）に数理学習センターの事前研修会を開催しました。

今学期は、新規チューターとして 3 学科 6 名（国際文化学科 2 名、スポーツ健康学科 2 名、健康情報学科 2 名）のチューターが加わり、継続チューターを含め 24 名で活動することになりました。

一日目は、新規正副リーダーと新規チューターの紹介、採用通知、チューターレベルアップ証明書の贈呈などを行い、高安先生のお話を伺いました。続いて、チューターによるプレゼンテーションを通して、MSLC の基本理念や「7：3 の精神」、リフェラルスキル、チュータリングの基本と活動上の留意点を確認しました。また、今期の取組と科目・運営の役割分担を共有しました。午後は、数学検定 2 級の問題演習と解答解説を行い、数理能力の向上に向けた学習に取り組みました。

二日目は、一日目の振り返りと SPI の解答解説に続き、チュータリングのロールプレイを行いました。グループごとに練習し、その内容を全体で共有することで、チュータリングの進め方や対応について確認する機会としました。午後は、広報とデータ管理の担当に分かれ、新規チューターへの業務説明や引継ぎ、広報資料の整備、データ管理や予約受付に関する準備などを行いました。さらに、科目リーダーによる科目ごとの事前準備と並行して、他のメンバーは引き続きロールプレイに取り組みました。

今期も、新規・継続チューターが協力し、互いに学び合いながら、学生が安心して利用できる学修支援の環境づくりを進めていきます。研修で確認した基本理念や役割分担を日々の活動に活かし、チーム力を発揮して、より効果的な学修支援に取り組んでまいります。

皆様のご支援とご協力・ご助言を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以下にチューターの振り返りおよび研修会の発表スライドを紹介いたします。

◆ 事前研修会事後アンケートより

●「高安先生のお話」について

- 既成概念にとらわれなくて新しい解決策を吟味する、ラテラルシンキングの重要性を感じました。私には「今まで通り今まで以上」という考え方があって、今までの良さを下げたくないという考えからある程度前提にしてうまく自由に動けないところがあると思った。良さは残しつつ、自分のよさや思い切りができるように意識していく。
- チューター側の AI の使用法はもちろんだが、チューターも教える際に適切に AI を使用することでよりよい TR につながるのでチューター育成の中にも AI の活用方法も取り入れる必要があると思いました。
- これからの学習支援では、単に問題の正解・不正解を見るだけではなく、学生がどの程度内容を理解し、自分の力で考えられているかを確認することが重要だと感じた。特に生成 AI の利用が広がる中では、正解できている場合でも、本当に理解して解答しているのかをチュータリングの中で確認する必要があると思う。
- 今期もより学習の質を高めるようなサポートをすることを大切にしながらも、私自身もこのセンターの一員として studentskill を得られるように MSLC の存在意義を見失わないこと、共に人間力を高めることを意識したい。

●チューターによるプレゼン①「MSLC について」（発表者：佐事奏実）

- 周りに頼りつつ、チューターとしての義務と責任をしっかりと自覚して頑張っていくべきだと感じた。また、チューターの緊張をほぐすように笑顔で接したり、リラックスできる雰囲気作りなどにも気を配ることも大切だと学んだ。
- 特に聞く 7 割、話す 3 割において、前期は自分が話す割合が多いなと感じたので、今期は聞くことを意識してチュータリングに取り組みたいと思った。報連相をたまに忘れることがあったので今期は忘れないようにしたい。
- また、注意するのは苦手と自分も思っていて、強く言う事が必須ではない、一緒に問題を解決することが大事というのが印象に残ったので一緒に解決するということを意識して行動していきたい。

- また、チューターは学習を支援する立場であるため、チューティーとの間に無意識に上下関係が生まれる可能性があることを意識して関わる必要があると感じました。

●チューターによるプレゼン②「リフェラルスキルとは」（発表者：安慶名碧）

- リフェラルスキルとは、自分たちだけでは対応が難しい状況が起こった際に、適切な専門機関や担当者につなぐための力であることを学びました。チューティーに緊急性のある問題が起きた場合には、無理にチュータリングを続けるのではなく、その状況に合った対応をすることが大切だと思いました。
- 「勝手に診断したり決めつけたりしない」というのは非常に重要だと感じた。主観では様々なバイアスがかかってしまうため、他の人の客観的な意見は求めるようにしたい。
- 守秘義務は、基本だけど気が緩んで乱れないように常に意識しようと思った。カウンターでの会話は意外と聞こえるから、話す時は、場所と方法を考えるべきである。
- プレゼンでの確認も大切だがそれで身につくわけでもないので実技としての確認も必要だと思った。

●チューターによるプレゼン③「チュータリングとは」（発表者：田浦和珠）

- チューターはチューティーに指導する立場ではなく、チューティーと一緒に考え正解を導くと言う、同じ目線に立つことが正しいチュータリングであることを知った。そのためには、チューティーとの心の信頼が大切であり、会話やコミュニケーションを通して心の距離を近づけていくことが必要であると感じた。
- ①問題の理解→②計画を立てる→③方略・実行→④振り返りという4つの流れを、実際の例題を使って説明していたため、新規チューターにもイメージしやすい内容だったと思います。
- チュータリングをするときに、問題をチューティーがどれくらい理解しているかを把握することが本当に大事だと思う。そのためにも質問することも大事だし、チューティーの話もしっかり聞くことも大事だと思う。
- 時間を守るというのは気をつけたい。特に前期ではチュータリングが上手いかず、シフト時間を少し過ぎてしまったことがあった。時間を守り、どこまでやるかの目標を立てて、それを目指したチュータリングを心がけたい。

◆9月11日(金)のチューター発表スライドより抜粋

<p>MSLC 数理学習センター 2026年度 後期 事前研修会プレゼンテーション</p> <h4>7:3の精神</h4> <p>7 : 3 の精神</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 自班の仕事 7 割 業務 7 割 聞く 7 割 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 他班の仕事 3 割 ボランティア 3 割 話す 3 割 </div> </div>	<p>MSLC 数理学習センター 2026年度 後期 事前研修会プレゼンテーション</p> <h4>義務と責任 — 事例から考える ② —</h4> <p>新規チューターを一人にしない</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>MSLCのシフトでは必ず 新規チューター＋継続チューター になるように調整している</p> <p>↓</p> <p>それだけでなく、 期数の少ないチューター同士が一緒にな らないように工夫している</p> <p>なぜか？</p> </div> <div style="flex: 1; border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;"> <p>短時間いないのはOK お手洗いや水入れに・ 慣れたらポスター貼りとか</p> <p>・裏側(事務室側)に15分以上いる ・その場にシフト外の人がいるからと いって新規または期数の少ないチュー ター(2期目)を一人にしない</p> <p>➡ シフト交換にも注意が必要！</p> </div> </div>
<p>MSLC 数理学習センター 2026年度 後期 事前研修会プレゼンテーション</p> <h4>義務と責任 — 事例から考える ③ —</h4> <p>学習"支援者"という自覚</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>私たちチューターは「教える」という立場 上、力関係が存在してしまう</p> <p>➡ ピア・チューターという考え方</p> <p>チューティーはお客様ではないし チューターは教員ではない</p> <p>➡ お互い「学生」として 同じ「学が存在」として切磋琢磨</p> </div> <div style="flex: 1; border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px;"> <p>支援が必要なチューティーがいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習障害(補助が必要) ・メンタル(配慮が必要) ・体調面の問題 <p>➡ いつものTRとちょっと違うな、 と思ったら必ず報連相</p> <p>相談しようかな、と悩んだら 即相談！！</p> </div> </div>	<p>MSLC 数理学習センター 2026年度 後期 事前研修会プレゼンテーション</p> <h4>まとめ ①</h4> <p>なぜ事前研修会をするのか？</p> <p>同じゴール達成に向けて 共に動くチームであるから</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> ゴール 基本情報 </div> <div style="margin: 0 10px;"> <p>統一する 必要があるよね！</p> </div> <div style="text-align: right;"> </div> </div> <p>・数理解習センターについて ・半学期の流れ ・定期トレーニングについて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【3つの基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 優しさ・笑顔・努力を大事にする学びの空間 ② 学生の数理解能力の向上と自主学習の促進を目的とした学習支援機関 ③ ピア・チューターは、寄り添う学習支援を心がけ、向上心を持ち、自己実現を目指す </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">7:3の精神</p>

図1 プレゼンテーション①「MSLCについて」 発表者：佐事奏実

<h3>チューターのリフェラルスキル</h3> <p>①学習上の困難を抱えたチューティーへ対応する場合 ②チューティーに学習以外の支援が必要な場合 ③チューティーが学習以外の事を求めている場合</p> <p>≡</p> <p>最初に自分がすべき行動を考える ≡ 自分自身で判断できない場合</p> <p>適切な機関・人に、連絡・相談する</p> <p><small>参考：谷川・石毛(2014)ピアチューター・トレーニング ナカニシヤ出版</small></p>	<h3>ケース① 学習上の困難</h3> <p>チューティーに学習上の困難がある</p> <p>この人は○○だな！</p> <p>チューターが勝手に診断したり 決めつけたりしない</p> <p>≡</p> <p>担当科目の先生に相談するなどして、 必要に応じて適切な支援に繋げる</p> <p><small>参考：谷川・石毛(2014)ピアチューター・トレーニング ナカニシヤ出版</small></p>
<h3>個人情報の取り扱い</h3> <p>カウンターでの会話は</p> <p>意外と聞こえます！</p> <p>≡</p> <p>個人情報などを共有する際は、場所と方法をきちんと選びましょう</p>	<h3>漏れない環境づくり</h3> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <h4>電子機器の取り扱い</h4> <ul style="list-style-type: none"> 席を離れるときはスリープにする パスワードを適切に管理する MSLC以外の端末でMSLCのアカウントにログインしない </div> <div style="flex: 1;"> <h4>情報の管理</h4> <ul style="list-style-type: none"> メモや付箋をそのままにしない 名簿をチューティーに見せない <p>≡ 情報を守るために</p> <p>机をきちんと整理しよう</p> </div> </div>

図2 プレゼンテーション②「リフェラルスキルとは」 発表者：安慶名碧

◆研修会の様子

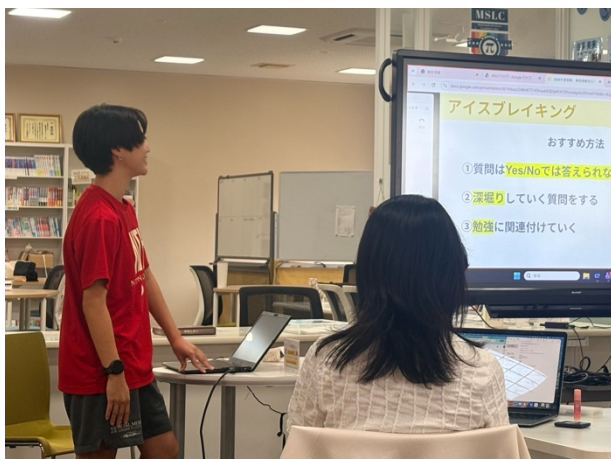


写真1 プレゼン



写真2 TR ロールプレイ



写真3 集合写真